

2017年4月21日

各 位

大京グループのオリックス・ファシリティーズ スマートグラス導入による働き方改革 インスペクション（検査）業務の品質向上および若年層の教育に活用

大京グループの総合ビル管理事業を手掛けるオリックス・ファシリティーズ株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：三宅恒治、以下「OFC」）は、ビル管理業務および工事業務におけるインスペクション（検査）ならびに新入社員を始めとする若年層の教育に、遠隔作業支援が可能となるメガネ型端末「スマートグラス」を導入することとなりましたので、お知らせいたします。

■導入する「スマートグラス」の特長

- ① 離れた場所にいるオペレーターから点検者への音声による指示、支援が可能
- ② オペレーターが赤ペンでパソコンに指示を書き込み、現場社員がグラス画面で確認できる
- ③ オペレーター側から写真の撮影実行が可能
- ④ カメラ映像は自動保存され、静止画の切り出しが可能
- ⑤ カメラ映像や写真データはすべてオペレーター側のパソコンに保存され、グラスの中に残らない

【オペレーターの使用シーン】



【点検者の使用シーン】



【スマートグラスで見える映像】



- ・ハードはエプソン販売株式会社の BT-2200（業務用モデル・ヘルメット装着タイプ）、BT-300（小型軽量タイプ）を使用予定。
- ・ソフトは株式会社オプティムの Optimal Second Sight を使用予定。

■導入背景

専門技術者の高齢化など人材不足が進む中、ビル管理業界では新たな技術を導入した業務改革を行うことが急務となっています。OFC はこれまでも、ビル管理現場におけるタブレットの活用、使用エネルギーの見える化などの ICT 化を進めてきましたが、2016 年 5 月より約 11 カ月、20 のビル管理および工事現場でスマートグラスのトライアルを行い、一定の成果が得られたことから、このたび 2017 年 6 月より、ビル管理業務および工事業務におけるインスペクションならびに新入社員を始めとする若年層の教育にスマートグラスを正式導入することとしました。これにより、専門技術の伝承を図ると共に、サービス品質を高めて顧客の満足度向上に努めてまいります。

■活用方針

活用シーン	目的・使用方法等	使用台数	使用開始
インスペクション業務への活用	スマートグラスをビル管理業務および工事業務のインスペクション(検査)を行う技術推進部に配備。多重確認を行うことでサービス品質を高めるとともに、サービス品質の平準化を図る。	3 台	2017 年 6 月～
若年層教育への活用	若年層社員が配属される事業所(ビル管理現場)にスマートグラスを常設し、点検作業時にスマートグラスを着用のうえ、所長等のベテラン社員の指示を受けながら業務を実施。継続的な利用により、新入社員を始めとする若年層の教育方法を確立する。	4 台	

大京グループでは 2016 年 10 月に発表した「大京グループ中期経営計画」において、「ICT 活用」を新たな取り組みテーマとして位置付けており、スマートグラスの導入による働き方改革もその一環となります。

また、OFC は強化方針の 1 つとして「技術力の強化」を掲げ、技術力の棚卸と伝承を進めており、「ICT 活用」を加速させることにより、技術力とノウハウを活かした新たなビジネス展開を推進してまいります。

■会社概要

OFC は、建物に関するハード部分を管理するビルメンテナンスに加え、運営管理などのソフト部分を管理するプロパティ・マネジメント、更には建築主様のご要望を実現するため、さまざまな工事、中長期修繕を行うコンストラクション・マネジメント等、お客さまのニーズに対し、総合的なプロデュースを行っています。

会社名：オリックス・ファシリティーズ株式会社（大京グループ）

東京本社：東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-25-5

代表者：代表取締役社長 三宅 恒治

設立：1970 年 2 月 12 日

事業内容：総合ビル管理、賃貸マンション管理、その他不動産管理、不動産仲介、建築工事

ホームページ：<http://www.orix-f.co.jp/>